

雲北陵月報

No. 444

令和4年8月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

中高卓球部 全国大会で躍動!

高校卓球部

第91回全国高等学校卓球選手権大会

時 7月29〜8月3日
於 宇和島市総合体育館

(男子団体)

2回戦 本校 3-0 鶴岡東(山形)
3回戦 本校 3-1 上宮(大阪)
準々決勝 本校 3-1 静岡学園(静岡)
準決勝 本校 2-1 愛工大名電(愛知)

(男子ダブルス)

3位 杉浦大和(32歳)・佐藤卓斗(24歳)
3回戦敗退

(男子シングルス)

小野泰和(15歳)・黒田昌秀(15歳)
3回戦敗退 杉浦大和、小野泰和
1回戦敗退 王 翊翔(32歳)
○大会総評

創部初となる団体戦3位入賞、ダブルス3位入賞を果たした。団体戦、ダブルスともに初戦から厳しい試合の連続であったが、選手は持ち前の粘り強さを発揮して、幾度と訪れた難局を乗り越えることができた。団体戦の準決勝は5連覇中の愛工大名電との対戦であったが、生徒は強豪校にも臆することなく挑み、あと一歩まで追い込むこ

とができた。今回の成績に満足することなく、今後は更に上を目指して精進していききたい。リモートで声援を送っていたいただいた皆様方には心より御礼申し上げます。有難うございました。

(顧問 古瀬泰之)



1年生ながらチームを牽引した小野泰和



ダブルス3位入賞の杉浦大和(左)・佐藤卓斗



3位に入賞した団体戦メンバー

3年生の2ペアが個人戦に出場した。満足のいく結果とはならなかったが、無事に大会に参加することができた。大会に向けた皆さんの方々にサポートいただき有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)

中学卓球部

第53回全国中学校卓球大会

時 8月19〜22日
於 苫小牧市総合体育館

(男子団体) ベスト8

第1試合 本校 3-1 札幌北陽(北海道)
第2試合 本校 4-1 鶴岡三(山形)
(決勝トーナメント)
2回戦 本校 1-3 明德義塾(高知)

(男子シングルス)

2回戦敗退 金丸 陽(中融)
○大会総評

全国で戦うにはまだまだ実力不足であった。1・2年生という若いチームだけに、今後の成長に期待したい。

(顧問 相場翔太)



4年を全国中学校卓球大会(苫小牧大会)に出場した本校卓球部

ソフトテニス部

全国高校総合体育大会

時 8月1〜3日
於 今治スポーツパークテニスコート

(男子)

木村蔵人(32歳)・岩崎遥平(35歳) ペア
2回戦 ④-1 愛媛県ペア
3回戦 1-④ 石川県ペア
川角悠太(31歳)・青木快生(34歳) ペア
2回戦 0-④ 宮城県ペア
○大会総評

3年生の2ペアが個人戦に出場した。満足のいく結果とはならなかったが、無事に大会に参加することができた。大会に向けた皆さんの方々にサポートいただき有難うございました。

(顧問 佐々木雄志)

(女子)

初出場 健闘!

全国高校総合体育大会

時 7月28〜30日
於 今治スポーツパークテニスコート

川角莉子(11歳)・森山音羽(14歳) ペア
2回戦 1-④ 岩手県ペア
水永花音(15歳)・大庭萌愛(14歳) ペア
2回戦 0-④ 神奈川県ペア
神田桜奈(25歳)・岡本涼香(14歳) ペア
2回戦 0-④ 三重県ペア
○大会総評

3ペアともに2回戦が初戦となったが、勝利を上げることができなかった。この経験を糧に次の目標に向けて進んでいきたいと思う。

(顧問 金森 快)

なぎなた部

全国高校総合体育大会

時 8月12〜15日
於 丸亀市民体育館

(演技競技の部)

予選リーグ敗退 廣瀬米香(25歳)・寺本春葉(14歳)
橋垣苺佳(23歳)・高野杏夏(34歳)
(個人試合の部)
高野杏夏 決勝T1回戦敗退
廣瀬米香 予選リーグ敗退

(団体試合の部)
1勝1敗 予選リーグ敗退
○大会総評

演技は予選リーグ敗退。団体では昨年度優勝校の大分西高校に善戦したが、後一步及ばず予選リーグ敗退となった。個人では両者とも入賞が期待されていたが、思うような結果に繋がらなかった。旗競技の難しさを改めて感じた大会であった。今大会の経験を生かし、今後も稽古に励みたいと思う。応援有難うございました。

(顧問 井上美代)

なぎなた部

第77回国民体育大会中国ブロック予選大会

時 7月17日

於 広島市南区スポーツセンター

1位 4勝0敗

※栃木国体出場権獲得

【出場選手】高野杏夏・橋垣苺佳・廣瀬米香

○大会総評

全勝し、1位で栃木国体の出場権を獲得した。これから成年選手とともに国体での活躍を胸に稽古に励みたい。

(顧問 井上美代)

卓球部

第77回国民体育大会中国ブロック予選大会

時 8月13・14日

於 マタハウジング東区スポーツセンター(広島)

(少年男子)

鳥根 3-0 鳥取

鳥根 3-1 広島

鳥根 3-0 岡山

鳥根 1-3 山口

2位 3勝1敗

※栃木国体出場権獲得

【出場選手】杉浦大和・佐藤卓斗・小野泰和

○大会総評

鳥根県選抜チームとして本校単独チームで臨んだ。インターハイ直後でコンディションは決して良くなかったが、各選手が気力を振り絞り、中国ブロック予選を突破することができた。栃木国体では入賞を目指して頑張りたい。

(顧問 古瀬泰之)

ソフトテニス部

第77回国民体育大会中国ブロック予選大会

時 8月20・21日

於 広島翔洋テニスコート

川角悠太が鳥根県代表としてダブルス、シングルスに出場した。結果は1勝3敗で4位となり、国体への出場は叶わな

った。高校での大会はこれで最後となったが、この経験を今後につけていって欲しい。

第77回国民体育大会鳥根県予選大会

時 7月17日

於 江津市営庭球場

本校からは川角悠太が最終選考会に出場した。その結果5名の代表に選出され、8月に広島県で開催される国民体育大会の中国ブロック予選への出場が決定した。

(顧問 佐々木雄志)

【女子】

第77回国民体育大会少年女子鳥根県一次予選

時 7月16日

於 江津中央公園

(個人)

優勝 果瀬暖花(14才)・木村香夏(15才) ペア

ベスト16 佐藤 楓(11才)・北井綺羅(11才) ペア

ベスト32 大野美空(15才)・竹下綾香(25才) ペア

(顧問 金森 快)

陸上競技部

第77回国民体育大会鳥根県予選大会

時 7月16・17日

於 松江

少年A棒高跳 4位 小村健晴(24才)

少年共通走高跳 5位 足立康佑(15才)

少年Aやり投 6位 加藤優之介(23才)

少年A300m 7位 田中 陸(31才)

少年共通走高跳 7位 梶谷匠千華(23才)

少年B走幅跳 7位 田中利都(13才)

○大会総評

入賞者が少しずつ増えて、秋の新人戦が楽しみになってきた。今年も猛暑であるが、基礎練習と試合形式の実践練習をしっかりと行っていききたい。

(顧問 別所美喜子)

野球部

第104回全国高等学校野球選手権鳥根大会

時 7月17日

於 松江市営野球場

本校 7-14 松江農林

夏の高校野球が13日(水)より開幕した。新型コロナウイルスの影響を受け、本校を含む7校が開会式に参加できないという異例の事態でのスタート。出場を辞退する学校もある中、大会に参加できたことにとっても感謝している。

今年大会は3年ぶりに、吹奏楽部による応援や一般客の入場も認められ、盛り上がりを見せた。試合当日は本校関係者をはじめ、多数の観客の方々に背中を押していただいた。全員で大会を終えることができなかったことは残念であったが、改めて出雲北陵高校野球部の飛躍を誓う大会となった。

(顧問 畑 宗一郎)

テニス部

鳥根県テニス新人大会出雲地区予選

時 8月20・21日

於 浜山公園

(男子シングルス) 7位 三島尚悟(21才)

(男子ダブルス) 2回戦敗退

(女子シングルス) 3位 長子七海(15才)

○大会総評

3年生が引退し、少人数の新チームとなった。まずは地区予選を自力で突破し、県大会のシード権を目指すという目標を持ち、大会に臨んだ。結果は及第点であったが、1ヵ月後の県大会では一つでも多く勝てるよう頑張りたい。

(顧問 石川剛巨)

吹奏楽部

第63回全日本吹奏楽コンクール中国大会

時 8月22日

於 とりぎん文化会館 梨花ホール

【高等学校Aの部】金賞

○大会総評

7年連続の全国大会出場を目標に、生徒たちは朝早くから夜遅くまで練習に励んだ。課題曲・自由曲は技術的にも音楽的にも難易度の高い曲で、練習では苦勞の連続であった。臨んだ本番では、練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏で観客を魅了した。

年々中国地区のレベルは高くなり、どの団体が全国大会へ推薦されてもおかしくないほどの好演奏が続いた。その中でも、本校は高い評価を得て金賞を受賞したが、目標としていた全国大会の出場権は得ることはできなかった。

我々にとっては大変悔しい結果であるが、結果を真摯に受け止め、更に良い音楽活動を目指し、今後も変わらず精進していきたい。来月行われるマーチングコンテストでは更に成長した姿を披露したい。

また、これまで献身的にサポートしていただいた保護者の皆様をはじめ、卒業生や関係者の方々に対し、部員一同心より感謝致します。

第63回全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会

時 8月7日

於 出雲市民会館大ホール

【高等学校Aの部】

曲目 課題曲Ⅲ ジェネシス

自由曲 バレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲より



権を得ることができた。加えて、Aの部で2大会ぶりの最優秀賞も受賞することができた。これも偏に、全面的にバックアップをしていただいた。はじめ、応援していただいたいる方々のお蔭と部員一同感謝している。(顧問 原田 実)

合唱部

NHK全国学校音楽コンクール鳥根県コンクール

時 8月10日
於 大田市民会館

今年度初めてのコンクールということもあり、生徒たちもかなり気合いが入っていた。当日は感染対策のために、歌手の間隔を横1メートル、前後約2メートル空けた状態で歌わなければならず、まさしく孤独な状態での本番であった。また、マスク着用が必須であったため息を吸うのも一苦労であったが、日頃の練習の成果を十分に発揮し歌いきった。結果は、金賞を受賞し、中国プロックコンクールへコマを進めることができた。更に細部にわたる表現やバランス、音色などクオリティを高めていきたい。

第61回鳥根県合唱コンクール

時 8月21日
於 出雲市民会館

NHKコンクールとは課題曲、自由曲ともに違い、アカペラの曲を演奏した。本番ステージでは、ホール一杯に北陵サウンドを響かせ歌いきった。結果は、金賞を受賞し、中国合唱コンクールへコマを進めることができた。しかし、審査員から多くの改善点も示され、

中国合唱コンクールに向けて、基本を大切にしながらより完成度の高い演奏ができるよう日々の練習に取り組みたいと思う。(顧問 布野浩志)

美術部

第46回全国高校総合文化祭

時 7月31日～8月4日
於 東京都立美術館
台東区浅草公会堂
都立上野高等学校



会場にて

本校から2名の美術部員が参加した。各都道府県代表のレベルの高い作品を鑑賞し、表現の多様さと豊かさに大いに刺激を受けた。8月2日には交流会が開かれ、鑑賞交流と江戸木目込人形の技を用いた鞠を制作し、全国の高校生と交流を深めた。
【参加者】 小林沙輝(35北)、山根麻由美(36北)
(顧問 飯塚康弘)

写真部

第46回全国高校総合文化祭

時 8月2日～4日
於 東京都美術館ほか



写真部門

本校から1名の写真部員が参加した。今年度は残念ながら鳥根県からの上位入賞はなかったものの、全国的優秀作品の鑑賞、国際的に活躍されている複数の写真家の講演会を通して、非常に良い勉強をさせていただいた。また、交流会や撮影会の中で、全国から集まった写真部の生徒たちと交流を深め、充実した時間を過ごすことができた。これも偏に日頃から支えてくださっている方々のお蔭である。心より感謝している。

【参加者】 伊藤美希(31南)
(顧問 村上 学)

第22回 いすもアートコンクール



会場の様子

時 8月19日
於 本校美術棟
22回目となる

中学生を対象とした標記コンクールを開催した。人物をモデルに鉛筆デッサンのコンクールを行った。コロナ禍での開催となり、例年と同じような賑わいはなかったが、参加した生徒からは「人物を描くのは難しかったが、丁寧に教えてくださり分かりやすかった。等の感想があった。入賞した作品は、講習を生かした技量の高い作品であった。

第20回中学生ワイプロコンテスト

時 8月19日
於 本校マルチメディアルーム

猛暑の中、9名の参加者を迎え、節目となる第20回大会を開催することができた。高度情報化社会の進展は急速に進み、若者たちがタッチ端末に触れて操作する機会は増えたが、仕事をする上ではキーボードを使ったタイピング技術はまだまだ必要な時代である。このコンテストは10分間にどれだけの文字数を正確に入力できるかを競うが、一番早い中学生は1400字を越え、普段からタイピング練習を行っている本校情報技術部の高校生たちも驚きの表情であった。



第20回 中学生ワイプロコンテスト

- 1 位 吉田開翔さん (大社中3年)
 - 2 位 石田統也さん (大社中3年)
 - 3 位 前島武千代さん (大社中3年)
 - 4 位 高木悠多さん (大社中3年)
 - 5 位 金築劍佑さん (大社中3年)
- 正確賞 原 旺佑さん (大社中3年)

インターアクト地区大会

時 7月30日～31日
於 ニューウェルシティ出雲

第45回インターアクト地区大会が3年ぶりに対面実施となり、本校から生徒5名が参加した。「つながろう 持続可能な社会の実現をめざして！」の大会テーマのもと、記念プログラムとして、専修大学特任教授見山謙一郎氏による講演「高校生でも気軽に取り組めるSDGs」や、出雲大社参拝と周辺散策の体験研修もあり、世界とのつながりを想像し、出雲の歴史と文化を再認識する機会となった。また今回体験したことや日頃の活動について班別会議で意見を交換し、全体会で発表を行った。岡山・鳥取・鳥根3県のインターアクトクラブが一同に会し交流する貴重な体験となった。

特別進学コース 校内予備校実施

時 7月26日～29日

コロナ禍のため、昨年・一昨年は中止となった校内予備校を予定通り実施した。生徒たちは、普段の授業とは違う雰囲気の中、受験に直結する内容を真剣に吸収しようとする姿が見られた。

令和4年度 出雲北陸高等学校 学校開放美術講座

時 7月26日 於 本校美術棟



素描講座の様子

令和4年度の学校開放美術講座が行われた。素描とデザインの講座に9校の中学校から12名の参加があった。素描は木炭を使用して絵画の基本である形や影を正確に描く練習を行い、デザインは果物を使った平面構成を行った。参加者は皆集中して約2時間の実技に取り組み、それぞれに上達が出来た。次年度も開催を予定しており、多くの方に受講していただければ嬉しく思う。

中学校

卓球部

第47回中国中学校卓球選手権大会

時 8月5〜7日 於 カマアリーナ

【男子団体】2位

(10回連続12回目全中出場決定)

【男子シングルス】

10位 金丸 陽(中魁)

○大会総評

団体・シングルスともに全国大会への出場権を獲得することができた。4月から大会参加に協力してくれた生徒に心から感謝している。(顧問 相場翔太)

第56回島根県中学校総合体育大会

時 7月21・22日 於 カマアリーナ

【男子団体】2位

【男子個人】

2位 金丸 陽

3位 波多間怜偉(中魁)

ベスト8 三好蒼空(中魁)

松崎優樹(中魁)

○大会総評

団体・個人ともに優勝を逃し、大変悔しい結果となった。中国大会での頑張りを目指したい。(顧問 相場翔太)

男子バスケットボール部

第56回島根県中学校総合体育大会

時 7月21〜23日 於 松江市総合体育館

1回戦 本校 65-32 湖東

2回戦 本校 45-58 益田東

ベスト16

○大会総評

新型コロナウイルスの影響で、選手全員で大会に出ることができず、悔しい結果となった。出場した選手たちは、最後まで諦めずに戦い抜いたと思う。ご声援有難うございました。

2022出雲市中学生バスケットボール交歓大会

時 8月6日 於 斐川第一体育館

予選リーグ

本校 83-17 出雲一

本校 89-4 平田

1位通過

決勝 本校 48-33 出雲二

優勝

○大会総評

少ない人数ながら3試合戦い抜き優勝できたことは、選手たちの自信になったと思う。ご声援有難うございました。



第3回島根県U15バスケットボール選手権大会

時 8月20・21日 出雲・雲南地区1次予選会

於 カマアリーナ・斐川西中学校

予選リーグ

本校 83-35 木次

本校 75-29 三刀屋BBS

1位通過 県大会出場決定

○大会総評

一生懸命戦うことができた。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)

野球部

全日本少年春季軟式野球大会出雲市予選

時 8月20日 於 湖陵球場

1回戦

本校・湖陵中 1-11 平田中

特別延長で敗退

○大会総評

本校は新チームから、湖陵中学校との合同チームとして活動している。試合は1対1と緊迫した内容だったが、特別延長に入り、相手に得点を許して敗れてしまった。まだまだ公式戦は続くので、次の大会も頑張りたいと思う。(顧問 手銭修司)

水泳競技

第56回島根県中学校総合体育大会

時 7月23・24日 於 島根県立水泳プール

女子200m平泳ぎ 4位 高橋ゆかり(中魁)

○大会総評

コロナの影響もあり、中学校最初で最後の県総体出場となった。結果は目標にしていた中国大会出場にあと一歩届かず、悔しい思いをしたが、今出せるベストを出し尽くして泳ぎ切ることができた。今

後に向けて、更なる成長を期待したい。サポートやたくさんの応援有難うございました。(顧問 和田拓真)

夏休み学習応援教室開催

8月2・3日の二日間

間学習応援教室を開催し、オリジナル土器作り、風鈴作り、計算早解き勝負、読書感想文、クッキー作りといったコーナーを設け、市内の小学生にたくさん参加していただいた。



朝顔や海の絵を描いた涼しげな風鈴を作った人、クマなどの動物クッキーを作った人など、それぞれ楽しんでいただけた。両日とも賑やかな一日となった。

環境整備実施

この夏休みに、体育館の屋根・内壁の改修工事、部室引き戸と2階渡り廊下建具の改修工事、また感染予防対策として視聴覚室・音楽棟等の空調機器更新工事を行いました。

特に体育館は雨漏りが発生したため、屋根全面に鋼板を敷き詰めるという大規模な工事になりました。

校舎の老朽化が進みつつある中、快適な学習環境を確保するため、今後も計画的に改修工事等を行って参ります。



2022年 秋のオープンキャンパス 日程 9/19日

オープニングイベント(ライブ配信) (8:40~8:45/12:25~ 12:30 各5分)

本校の生徒会執行部によるオープニングイベントをライブ配信します。※申し込み不要。授業体験を受ける部屋で視聴していただきます。

中学校

行事名	実施時間	対象	定員	持ち物	事前申込
第2回 英検4級に挑戦しよう	11:00~12:00	5・6年	20名程度	筆記用具	必要
入試に挑戦! (英語・算数・国語)	13:00~14:00	6年	30名程度	筆記用具	必要
第3回 パティシエ体験 (パームクーヘン)	13:00~15:00	5・6年	20名程度	エプロン・三角巾	必要
授業体験 (社会・理科)	14:00~15:00	5・6年	20名程度	筆記用具	必要
個別相談	9:00~16:00	4~6年と保護者の方			不要
入学説明会 (北陵中ってどんな学校?)	① 9:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~	4~6年と保護者の方			不要

高等学校授業体験 (8:45~ 9:25/12:30~ 13:10 各40分)

教科名	テーマ	内容
国語	漢字の成り立ちと漢文入門	漢文の基礎を分かりやすく指導します。
数学	数学Bにチャレンジ	数学B(数列分野)の基礎的内容を勉強します。
英語	高校英文法に挑戦	3つの完了形(現在・過去・未来)に取り組み基本事項を確認します。
理科(生物)	高校生物を体験しよう	遺伝子のモデル実験を通して、高校生物の内容に触れます。
社会(地理・歴史)	社会科って面白い!	故郷の地理・歴史を通して社会科の楽しさを再確認します。

受験講座 (9:40~ 10:30/13:35~ 14:25 各50分)

教科名	テーマ	内容
国語 数学 英語 理科 社会	過去問にチャレンジ!	本校の過去の入試問題を使って、傾向と対策を詳しく解説します。

その他の行事

行事名	実施時間	場所	備考
合唱部 部活動体験	10:50~12:00	音楽室	
美術受験講座	10:50~13:00	美術棟	持参物:鉛筆(3B、HB、2H程度)消しゴム、カッターナイフ
入学相談	9:00~15:00	図書室	事前申込は必要ありません。保護者の方もOKです。

中学校(部活動体験・見学)

部活動名	実施時間	場所	対象	事前申込
野球部	9:00~10:40	第1グラウンド	5・6年生	不要
男子バスケットボール部		体育館		
女子バスケットボール部		体育館		
陸上競技部	10:50~12:00	第2グラウンド		
卓球部		黎明館		
なぎなた部		黎明館		
テニス部		テニスコート		
ダンス同好会		中高棟ホール		

部活動見学 (10:50~ 12:00/14:40~ 16:00) *午前と午後で見学[体験]できる部活動が違います。

部活動名	実施時間	場所	備考
女子バスケットボール部	10:50~12:00	体育館	部活動見学(体験)
女子バレーボール部		体育館	部活動見学(体験)
テニス部(男女)		テニスコート	部活動見学(体験)
男子ソフトテニス部		ソフトテニスコート	部活動見学(体験)
陸上競技部		第2グラウンド	部活動見学(体験)
なぎなた部		黎明館1F	部活動見学(体験)
ダンス同好会	14:40~16:00	中高棟ホール	部活動見学(体験)
男子バスケットボール部		体育館	部活動見学(体験)
サッカー部		第1グラウンド	部活動見学(体験)
女子ソフトテニス部		ソフトテニスコート	部活動見学(体験)
野球部		第1グラウンド	部活動見学(体験)
卓球部		黎明館2F	部活動見学(体験)
写真部		216R	部活動見学(体験)

*筆記用具、上履き、下足用袋、飲み物、弁当(必要な人)を持参してください。

*当日はランチルームの大サービス!(営業時間11:00~ 13:30) (カレーライス ¥100、ラーメン ¥100、うどん ¥100など)

部活動体験(運動部)

今年度初の試みで、中学3年生を対象に部活動体験(運動部)を実施した。当日は暑い中ではあったが、男女バスケットボール部、サッカー部、なぎなた部等に参加があり、本校の部活動を体験していただいた。

時 7月28日
於 本校

校内教職員研修会



全教職員が参加し、教職員研修を行った。今回の研修内容は先生方が外部で受けた研修の報告、人権教育、外部講師を招いたICT教育などであった。今後の授業、学級運営、生徒支援など、教員としてのスキルアップにつながる充実した研修となった。

時 8月17日
於 黎明ホール

夏のオープンキャンパス開催

今年高校では午前と午後と同じ講座を2回行い、参加者が分散するよう配慮した。また生徒会によるオープニングイベントをライブ配信するなど、新しい形での開催となった。

時 8月19日



受験講座の様子

参加した中学生は、授業体験や受験講座を真剣に受け、本校の雰囲気を感じてくれた。また、中学校では、英検チャレンジやパティシエ体験に多くの小学生が参加し、一日中賑やかな雰囲気に包まれた。

作品と研究

3年生の現代文で小説『待合室』を学習しました。江田医院に通う老人・山崎さんは、待合室で偶然会った男の子にクワガタムシをあげると約束し、約束を果たすために、自分の治療が終わっても毎日待合室で男の子を待っています。山崎さんが約束した男の子が既に亡くなっていることを知った江田先生は、山崎さんに事実を伝えず、代わりにクワガタムシを渡すことを約束しました。

この江田先生の行為について生徒たちはどう考えたのでしょうか。

日下 和軌(3・4世)

私は、江田先生の取った対応に賛成である。なぜなら江田先生の対応は誰も傷つけていないからだ。

もし江田先生が真実を話していれば、間違いなく山崎さんはショックを受けていただろう。江田先生の話した嘘は、あの場面を収めることにおいて最も優れた方法である。

これに対して、江田先生にだまされて虚偽の喜びを得てしまった山崎さんがかわいそうであり、たとえ山崎さんを傷つけたとしても真実を伝えたいという意見もあるだろう。しかし私は、嘘をつくことは

どんな時でも悪であるという考え方がまず間違っていると考える。例えば、クリスマスにはサンタクロースが自分の欲しいプレゼントを持ってきてくれると信じている子どもたちがたくさんいる。だが、やがて子どもたちが成長するにつれ、サンタクロースの正体を知るようになり大きなショックを受け、悲しむことになるだろう。この例を踏まえても、嘘をつかないことが必ずしも相手のためになるとは考えられない。少なくとも子どもたちはサンタクロースが来ることをいつも楽しみにしていたはずだからである。嘘をつくことは、時と場合により悪にも善にもなりうるのだ。

このような理由で、私は江田先生のとった行動に賛成である。

原田惺士朗(3・4世)

私は江田先生のこの対応には反対だ。

なぜなら、江田先生のこの対応は「嘘」をつくことの重大さを分かっているという軽率な行動だからだ。確かに、この行動から山崎さんの気持ちを思いやっている江田先生の姿が垣間見られるという意見もあるかもしれない。しかし、私は、「嘘」に関しては善し悪しはないと考える。実際に「椿井文書」という文書がある。これは昔、村と村との戦いのときに

どちらかの村が有利になるように書かれた文、いわば、書いた本人が片方の村を擁護するために書いた「嘘」である。しかし、その「嘘」は一時的なもので収まらず、約二百年もの間信じられてきた「嘘」になってしまった。それゆえ日本最大級の偽文とまで言われている。その「嘘」が「嘘」だと分かったとき、その文書が伝わる地元の人々は大きなショックを味わった。

このことから「嘘」は一時しのぎであっても良心から出たことであっても、将来その本人が想像しない大きな嘘になりうると言っても過言ではないだろう。

ゆえに私は「嘘」はどのような場合であってもつくべきではないと考える。

佐野 歩美(3・4世)

私は江田先生の行為に賛成だ。

医者が患者の対応をする際、一番頭に置いておくべきことは、どのような形であれ患者の状態を診察する前より良い状態にするということだと考えるからだ。

今の山崎さんにとってより良い状態になるとは、無事にクワガタムシが男の子の手に渡って安心することであろう。文中でも男の子にクワガタムシを渡せると聞いた瞬間、むっつり顔が消えて満足そうになったと

書かれている。医者である江田先生にとつては、患者をそのような状態になるまで丁寧な診察することが大切だったのだと考える。

もし山崎さんに、男の子が亡くなったという事実を素直に伝えたら、山崎さんは良い状態で帰ることができたとは思えない。約束を大切にしている誠実な性格の山崎さんだからこそ、約束を果たすことができなかつたと知ったらひどく後悔するだろうと考えて、江田先生は山崎さんに「嘘」をついたのだろう。普段から患者一人ひとりに合った丁寧な診察をしている江田先生だからこそ、山崎さんに対してすることができた行為だと考える。

したがって、私は江田先生の行為に賛成である。



今月の
1枚 「怪光」

磯田明佳里(3・3世 斐西)